

「L P ガス使用状況分析による高齢者の安否見守りサービス事業のフィジビリティ・スタディ」 に関する調査結果概要

1. 実施者

八戸液化ガス株式会社

2. 調査概要

(1) 目的

日常生活に極めて密着しているL P ガスの使用状況を分析することで、高齢者の「見守りサービス」の提供が可能かを検証するため。

お客様からの信頼が厚いL P ガス事業者の新事業として有効かを検証するため。

既存インフラの「集中監視システム」を活用して運用することが可能かを検証するため。

消費者ニーズを把握するため。

(2) 実施方法

以下 ~ のデータを収集し、モニタ先の属性データ（家族構成・使用ガス機器など）と照合して、ガス使用状況の傾向を探る。あわせて、モニタ先へ本システムについてのアンケートを実施し、「高齢者見守りサービス」のニーズを掴む。

「使用有無型」 200 件

「ガス使用状況計測機器」は、ガスが使用されたか否かを1時間単位で1週間分記録する。この記録データは通信端末機器（以下N C Uという）を介して集中監視センタに収集される。このデータを「生活リズム」の把握に活用し、モニタ本人へも送付し、意見を聞いた。

ガス使用状況データ（使用有無）
お客様名: 様
番号: 0000000000000000
データ取得: 0000年00月00日 - 0000年00月00日

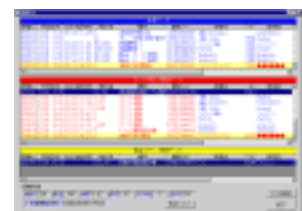
ガス使用状況データ（使用流量）
お客様名: 様
番号: 0000000000000000
データ取得: 0000年00月00日 - 0000年00月00日

「使用流量型」 20 件

メータを毎時検針する。この検針値はN C Uを介して集中監視センタに収集される。このデータを「生活リズム」のより詳しい把握に活用し、モニタ本人へも送付し、意見を聞いた。

「連続不使用警告型」 220 件

「ガス使用状況計測機器」は、ある一定時間以上連続してガスが使用されなかった場合、N C Uを介して集中監視センタへその情報が発呼される。「緊急」または「いつもと違う」を発見するのに活用する。センタへ通報が入った場合、本人または指定連絡先へ電話連絡する。



3. 調査結果概要

<データより>

- 「使用有無型」 生活リズムを把握でき「見守りサービス」に有効。運用にも向いている。
- 「使用流量型」 生活リズムを把握でき「見守りサービス」に有効。しかし運用は難しい。
- 「連続不使用警告型」 大筋のしくみは良い。運用も可。しかし連絡先の検討が必要。

別紙1 参照

<モニタアンケートより>

- ・モニタ 93%が「サービスとして良い」と評価。「ガス」による見守りサービスは、「ガス＝生活に密着したエネルギー」という点から、「生活を見守る」サービスとして有効である。
- ・モニタ 98%が「ガスご使用状況による見守りサービスを利用したい」または「必要になったら利用したい」と回答。
- ・モニタ 71%が「利用料は月 500 円まで」を希望。

4. 調査結果から得られた効果

- ・既存インフラである「集中監視システム」の活用として、このサービスは実現可能性が高く、事業展開が有望であることが分かった。
- ・ガス使用状況を見ることで「生活リズム」が把握でき、「見守りサービス」に有効であることが分かった。
- ・ガス使用状況「使用有無型」データは、利用者にとって理解しやすく受け入れられやすいものであり、また運用にも向いていることが分かった。
- ・ガス使用状況「使用流量型」データは、利用者にとって理解しやすく受け入れられやすいものではあるが、運用は難しいことが分かった。
- ・ガス使用状況をある程度パターン化することは可能だが、様々なライフスタイルがあるように使用状況も様々である。一概に「このような場合は異常だ」「こんな時は安否確認が必要だ」と判断することは難しいことが分かった。
- ・「ガス事業者がお年寄りを見守る」より、「ガス事業者から送られてくる情報をもって、離れて暮らす家族がお年寄りを見守る」というスタイルの方が、より受け入れられることが分かった。

5. 調査結果の今後の活用、調査結果を踏まえた今後の取り組み

<平成 16 年度申請の調査での検討内容>

- ・事業化に向けて、より効率的な運用（しくみ）を検討する。
- ・一ガス事業者のビジネスと捉えるのではなく、地域貢献という点から、地域の他のガス事業者と共に検討する。
- ・無意識のところでの「見守りサービス」だけでなく、意識的に支援を求められるサービス（無線ペンダントの活用など）を併用したサービスのニーズについて調査・検討する。
- ・情報提供先とその方法のニーズについて調査・検討する。
- ・サービス内容について、より詳しく理解しやすい説明方法を検討する。
- ・プライバシーの侵害にならないよう、十分配慮する必要がある。

別紙2 参照

6. 補助金確定額

18,523,470円

別紙 1

「使用有無型」

例 一人暮らし高齢者（80歳・無職・健常者）コンロ使用の場合

	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	1月10日		1月11日	1月12日	1月13日	1月14日	1月15日	1月16日	1月17日
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
0時台															
1時台															
2時台															
3時台															
4時台															
5時台															
6時台															
7時台															
8時台															
9時台															
10時台															
11時台															
12時台															
13時台															
14時台															
15時台															
16時台															
17時台															
18時台															
19時台															
20時台															
21時台															
22時台															
23時台															

主に食事の準備でガスが使われている。このデータより、朝・昼・夕方にガスが使われていることが読み取れる。特に朝は毎日決まった時間（7～8時台）からガスが使用されている。こうしたデータから「生活リズム」を読み取ることができる。

「使用流量型」

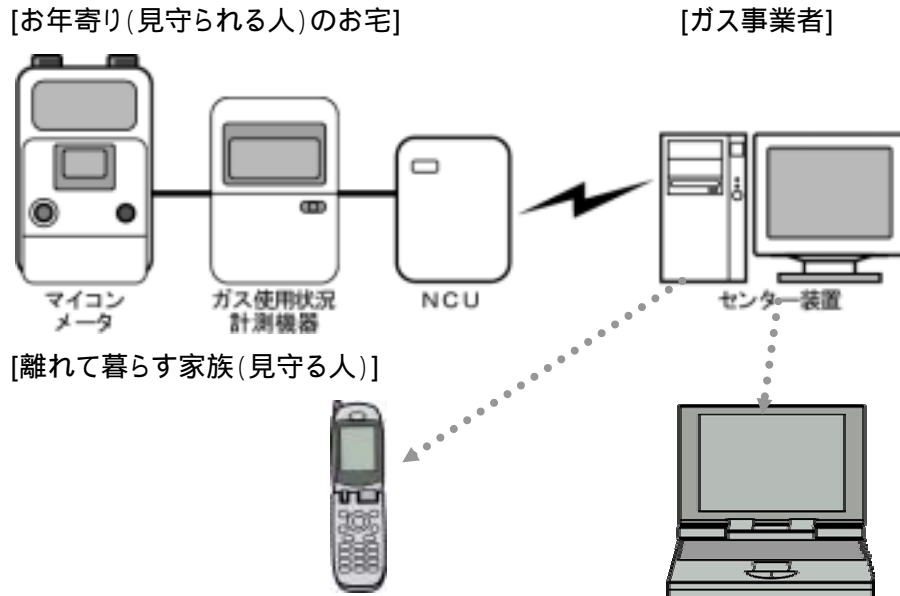
例 一人暮らし高齢者（80歳・無職・健常者）コンロ使用の場合

	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	2月20日	2月21日		2月22日	2月23日	2月24日	2月25日	2月26日	2月27日	2月28日
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
0時台															
1時台															
2時台															
3時台															
4時台															
5時台															
6時台															
7時台															
8時台															
9時台															
10時台															
11時台															
12時台															
13時台															
14時台															
15時台															
16時台															
17時台															
18時台															
19時台															
20時台															
21時台															
22時台															
23時台															

ガス使用はコンロのみなので、使用量は「（0～30L/h）」の箇所が多い。朝・昼・夕方にガスが使われていることが読み取れる。

を比較すると、「使用流量型」データは「 」の数により使用流量が示されているので、どのガス機器を使用したかの推測が立てやすく、「使用有無型」データより「生活の様子」を詳しく把握できる。しかしながら、「使用流量型」は1時間毎に集中監視センタからメータ検針値を読み取る作業が煩雑であり、費用も高む。従って「生活の様子を見守る」「生活リズムを把握する」という目的で見比べると、左の「使用有無型」データで十分と思われる。

平成 15 年度調査結果を踏まえた
ガス使用状況による高齢者見守りサービスの構成（今後の運用の姿）



携帯電話へお年寄り(見守られる人)の「ガス連続不使用警告」や「ガス使用状況」のデータが送られてくる。安否確認は必要に応じて離れて暮らす家族が行う。

インターネットでお年寄り(見守られる人)の「ガス使用状況」データを確認できる。



お年寄り（見守られる人）の「ガス使用状況」「ガス不使用警告」データは、ガス事業者より、離れて暮らす家族（見守る人）へ送られる。離れて暮らす家族は、必要に応じて安否確認やコミュニケーションのきっかけとして活用する。
このように、ガス事業者は情報提供業務に徹する。このことにより、プライバシーの侵害になることもないし、効率的な運用が可能となる。